

日立市議会議員立候補予定者「東海第二原発」に関するアンケート結果

日立市は、わずか2km先に「東海第二原発」があります。また、過酷事故時の19万人避難計画（福島県へ）も市で検討されています。私たちは、本年4月に行われる日立市議会議員選挙は特に大切だと考え、今回立候補される予定者にアンケートをお願いしました。この結果を紹介し、市議会議員選挙の参考にされることを願っています。

(32名に渡し27名から回答ありました)「東海第二原発再稼働ストップ日立市民の会」2015/3/22

名前 (あいう順)	1 再稼働に			2 過酷事故で日立市民の実効性 ある避難計画は		
	A	B	意見(要約)	A	B	意見(要約)
青木 俊一	○					作らねばならない
石井 仁志		○	30km 圏日立市全域 廃棄物問題		○	県意向次第 実践可能性不明
伊藤 健也	○		市議会の意見書(下記※)が前提			市議会の意見書が前提
伊藤 智毅		○	福島の教訓からも制御不能		○	策定不可能 出来ても役に立たない
井上 清			市議会の意見書が前提			
薄井 五月			国の審査結果待ち			県の計画に委ねる
大庭 弘美	○					市民納得のものを作らねばならない
大曾根勝正		○	直ぐ40年廃炉に 地震国に不要		○	96万人 避難できない
岡部 光雄	○		代替エネ確保見通せるまで	○		
粕谷 圭	○		市議会の意見書が前提	○		
黒澤 信弘	○		代替エネ決定(安定供給)まで	○		作らねばならない
小林真美子		○	老朽した東海第二原発 廃炉に		○	避難策を国審査に入れるべき
佐藤 三夫	○		代替エネの安定供給まで	○		必要条件
下山田幹子		○	安全対策安心得れない廃炉に		○	避難、誘導現段階では難しい
白石 敦	○		市議会の意見書が前提	○		出来るようにしなければならぬ
瀬谷 幸伸			判断時期尚早			判断時期尚早 出た後に判断
添田 絹代			国が審査基準を策定している			計画のゆくへ 出た中で判断
高濱 正敏	○		安全性確保 エネ源の集中はリスク			想像絶する事故想定計画意味ない
高安 博明	○		審査合格と議会の意見書前提			国県がまとめ、市が準じて
館野 清道			審査を注視している			国県の計画策定を注視する
茅根 茂彦	○		再生可能エネの持続可能時まで	○		完全に近い計画を作るべき
塚田 明人	○		市議会の意見書の3つが前提			出来るようにしなければならぬ
永山 堯康	○		市議会の意見書が前提			
藤森 結花			国の判断 県関係市町村が協議			実効性あるべき 県市民の安全第一
松崎 和也		○	100%安全ではない		○	日本、世界の例から考え難い
三代 勝也			国の動向を見極めたい			計画出るのを見守りたい
吉田 修一	○		市議会の意見書が前提	○		出来ることを期待する

※ 日立市議会「東海第二原子力発電所の再稼働の判断に関する意見書」(2012.3.19提出)

- ・安全性に関する十分な検証
- ・万が一の場合の万全な防災対策
- ・周辺自治体及びその住民の納得を前提に行うこと。

(意見全文の問合せ等は 事務局まで 電話 090-9845-7019 荒川)